

磯山雅プロデューサー

自筆譜稿による

シューベルト

《冬の旅》

雪に閉ざされた荒野を歩けば、道に迷う。

冬の野を旅するには道しるべが欲しい。

シューベルトの《冬の旅》の世界は雪の中にあり、

はつきりと姿を見せるものはほとんどない。

おぼろげに菩提樹の木が浮かび上がり、

風見鶏がきしみ、

どことも知れない墓地には

クラッツ（緑の葉の輪）が見える。

最後に登場するライアーマン（辻音楽師）も

生きているのか死んでいるのか分からず、

リアリズムは皆無だ。

その中で、シューベルトの手稿譜からは

出版譜と異なるサインが送られてくる。

たとえば第一部の終わりの「孤独」と

全体の終わりの「ライアーマン」を同じ

口短調にし（出版譜は調性が異なる）、

さらに《白鳥の歌》の「影法師（ドッベルゲンガー）」も

口短調にしている。

この3曲を絶望の果てに漂う空間として

捉えていることが分かる。

オリジナル楽譜はシューベルト本来の思いが

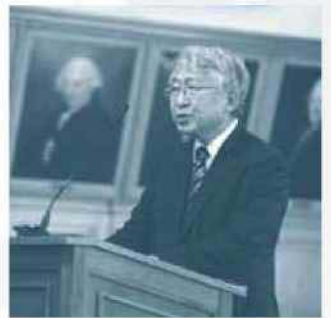
隠された道しるべなのだ。

梅津時比古

長年コンサートライフにかかわっていると、この人の芸術をぜひ知らしめたい、という音楽家に出会うものです。バ
ルトンの田中純さんは、そんな大切な人の一人。ノーブルな美声と明晰な発音で歌われる田中さんの歌には夢があり、
青春があり、品格があります。バッハ、歌曲、また歌謡曲—私は田中さんの歌に、いつも感動をもって耳を傾けてき
ました。

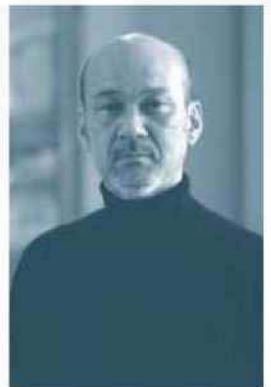
そんな田中さんの《冬の旅》を、年末にサントリーホール・ブルーローズで聴こうというのが、今回の企画です。シュー
ベルト時代のフォルテピアノを名手、渡邊順生さんに弾いていただき、シューベルトの本来の構想がはっきりわかる自
筆譜稿を使い、作品の精通者、梅津時比古さんと対談し、オリジナルの字幕を用意し……と、話は一味違うコンサ
ートを目指して、とんとんと進みました。一同全力投球しますので、ぜひ覗いてくださるよう、お願いします。

磯山雅



7度目の《冬の旅》です。今回は初めてのフォルテピアノとの共演です。渡邊氏との顔合わせ時、名刺代わりに全
曲歌ってしまいました。何とも言えない繊細さ、時折感じるドキドキ感、胸に突き刺さる激しい響き。30年以上歌っ
てきましたが、初めての感覚でした。明らかに自身の歌唱の変化を実感しました。皆様にも是非この世界、またシュー
ベルト独特の調性感を楽しんでいただければと思います。

田中純



Jun Tanaka バリトン

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。デトモルト国立音楽大学、バダーホルン国立総合大学にて研鑽を積む。この間、ドイツ各地で歌曲
リサイタル、教会音楽、オペラ等の演奏活動を行う。第2回国際ブラームスコンクール（ハンブルク）で、第2位受賞（1位なし）。帰国後、
ドイツ歌曲、宗教曲のスペシャリストとして、数多くのコンサートに出演。ヴォルフ歌曲全曲演奏に取り組み、すでに、ゲーテ、メルケ、
アイヒENDORF等200曲以上を発表している。2002年～2004年滋賀県高校生音楽コンクール、2003年第7回J.S.G国際歌曲コンク
ール、2007年～2013年全日本学生音楽コンクール大阪大会の審査員を務めている。京都女子大学大学院教授、日本シューベルト協会、
関西二期会、日本ワーゴウ・ヴォルフ協会、日本音楽表現学会各会員。

ダミーです。雪に閉ざされた荒野を歩けば、道に迷う。冬の野を旅するには道しるべが欲しい。シューベルトの《冬
の旅》の世界は雪の中にあり、はつきりと姿を見せるものはほとんどない。おぼろげに菩提樹の木が浮かび上がり、風
見鶏がきしみ、どことも知れない墓地にはクラッツ（緑の葉の輪）が見える。最後に登場するライアーマン（辻音楽師）
も生きているのか死んでいるのか分からず、リアリズムは皆無だ。その中で、シューベルトの手稿譜からは出版譜と異
なるサインが送られてくる。たとえば第一部の終わりの「孤独」と全体の終わりの「ライアーマン」を同じ口短調にし（出
版譜は調性が異なる）、さらに《白鳥の歌》の「影法師（ドッベルゲンガー）」も口短調にしている。この3曲を絶望の果
てに漂う空間として捉えていることが分かる。

オリジナル楽譜はシューベルト本来の思いが隠された道しるべなのだ。

渡邊順生



Yoshio Watanabe フォルテピアノ

鎌倉生まれ。一橋大学社会学部卒業。ピアノを宅孝二、チェンバロを小林道夫に師事。アムステルダム音楽院にてチェンバロをグスタ
フ・レオンハルトに師事し、1977年最高栄誉賞付ソリスト・ディプロマを取得。1980年にはチェンバロ奏者としてオランダで3人目のブ
リ・デクセラウス受賞の栄誉に輝いた。1980年帰国以来、古楽器演奏の啓蒙と普及に努め、精力的な演奏活動を展開。CDを多数リ
リース、『モーツァルト：フォルテピアノ・デュオ』（ALM）で2006年度レコード・アカデミー賞を受賞。著書に『チェンバロ・フォルテピ
アノ』（東京書籍）がある。第42回（2010年度）サントリー音楽賞受賞。上野学園大学客員教授、国立音楽大学、桐朋学園大学及び東京
音楽大学講師。

サントリーホール ブルーローズ

東京都港区赤坂1-13-1 <http://www.suntory.co.jp/suntoryhall/> 東京メトロ有楽町線南北線池田山王駅13分徒歩約10分、東京メトロ南北線六本木一丁目駅3分徒歩約5分